

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
BALLET 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	Hink/谷古宇千尋/ 山端茉奈美/ウェザフォード美輝			実務 経験	有	職種	バレエダンサー				
担当教員紹介											
【Hink】4 歳よりクラシックバレエを始める。日本音楽高等学校バレエコース卒業。ヨーロッパバレエ研修・セミナー等を受け様々な教師に指事。舞台、ミュージカルなどジャンルを越えた活動を経て、2011年1月、トゥッシュューズを履いたGirlsエンターテイメントグループ「colorpointe（カラーポイント）」結成。演出・振付・プロデュースを行い、ダンサーとしても出演。イベント出演、PV出演、モデル活動等、幅広く活動する全く新しいエンターテイメントグループを取りまとめている。 【谷古宇千尋】マシューボーン主宰のニューアドベンチャーカンパニー入団。マシューボーン演出・振付「Nutcracker/くるみ割り人形」英国公演、日本公演、韓国公演、アメリカ公演に出演。近年はユーミンソングミュージカル「ガールフレンズ」、マシューボーンの「DORIAN GRAY」、霧矢大夢コンサート「The Gentlewoman」 等出演											
授業概要											
この科目では全てのダンスの基礎となるバレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、体の使い方、音楽への理解、文化芸術を学びます。バレエにおけるストレッチ、基礎となるポジションや動きを身に付け、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置きます。その上でテクニック、コントロールを学びバレエを表現できる事を目的とします。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
この科目ではストレッチやバーを使った基礎動作や身体配置を中心に学びます。センターエクササイズおよび反復練習、正しい体の使い方筋肉の使い方を理解、修得を目指します。											
成績評価方法											
試験・課題 レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	バレエにおける基礎ガイダンス 正しい姿勢について										
第2回	プロダンサーに必要なバレエのストレッチを学ぶ										
第3回	ポイントの動作を学ぶ										
第4回	フレックスの動作を学ぶ										
第5回	ドゥミの動作を学ぶ										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
BALLET 1	
第6回	プリエの動作を学ぶ
第7回	ルルベの動作を学ぶ
第8回	ポジションを身に付ける 第一ポジション/ドゥミ・プリエ
第9回	ポジションを身に付ける 第二ポジション/ドゥミ・プリエ
第10回	ポジションを身に付ける 第三ポジション/ドゥミ・プリエ
第11回	ポジションを身に付ける 第四ポジション/ドゥミ・プリエ
第12回	ポジションを身に付ける 第五ポジション/ドゥミ・プリエ
第13回	バーレッスンの基礎的な動きを理解する
第14回	バーレッスン プリエから始まるバーレッスン
第15回	ポジションごとのバーレッスン(第一ポジション)